

成果指標				
成果指標	当該年度のGT体験受入者数／前年度のGT体験受入者数×100			
指標設定の考え方	GT体験受入者数を昨年度実績と比較することで事業効果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目 標	100%以上	100%以上	0	0
実 績	93.6%	91.7%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	2	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度から実践者による体制整備が図られ、新たなGT協議会として市直営から補助団体としての自主的活動に資する素地構築が成された。今後、市全域の活動となるための市関与を一部継続しながら、主体の運営に推移していくよう努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	双海地域に特化していた本協議会も、今年度「伊予市グリーンツーリズム推進協議会」として名称新たに発足し、モニターツアーを開催したり、PR用の看板設置したり、活動を展開中である。モニターツアーでは参加者のアンケートを行い、地域の特性(再発見等)や参加者ニーズなどの検証を行っている。今後も他の体験メニューによるモニターツアーを実施して、都会人や参加者のニーズを確認しなければならない。また、今年度伊予市内にある積極的に活動を展開している組織や事業を把握して、加入を呼びかける取り組みも行っていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	課題認識における言葉の表現がわからない。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	